

# 平成23年度 酒田市役所地球温暖化対策報告書

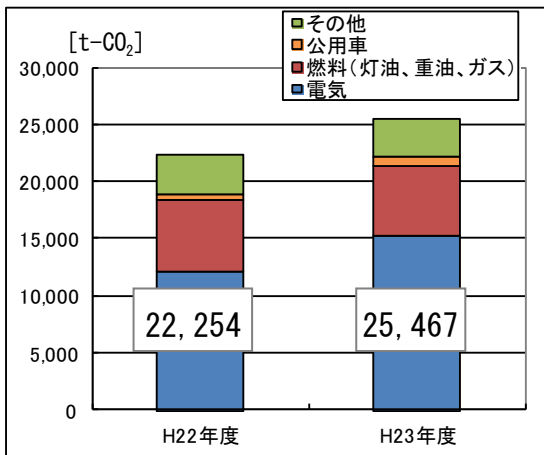
## ■市役所の温室効果ガス排出量

平成23年度は、東日本大震災の発生とそれに伴う原発事故の影響による電力不足への対策のため、特に夏の時期は例年以上の節電や省エネの取組みが行われました。その結果、電気使用量は前年度に比べて減少しましたが、原子力発電所等の停止により、東北電力管内の電気使用に係る排出係数(※1)が増加したため、温室効果ガス排出量は14.4%増加した結果になりました。

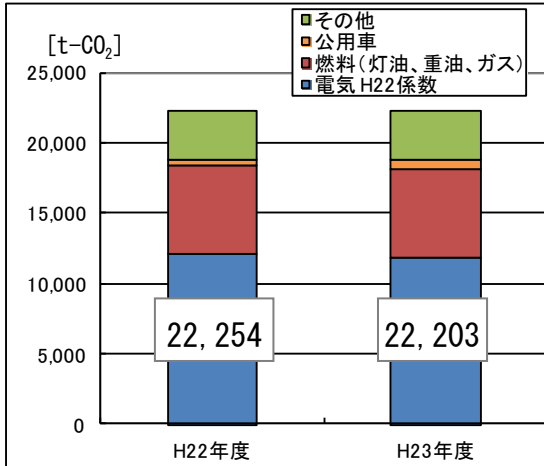
平成22年度の電気使用に係る排出係数に固定した場合、前年度と比較して0.2%削減されました。

年度	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年比
平成22	22,254	
平成23	25,467	14.4%
	22,203 (電気使用に係る排出係数を平成22年度の値に固定した場合)	-0.2%

市役所の事務事業からの温室効果ガス排出量の推移



＜電気使用に係る排出係数を平成22年度の値に固定した場合＞

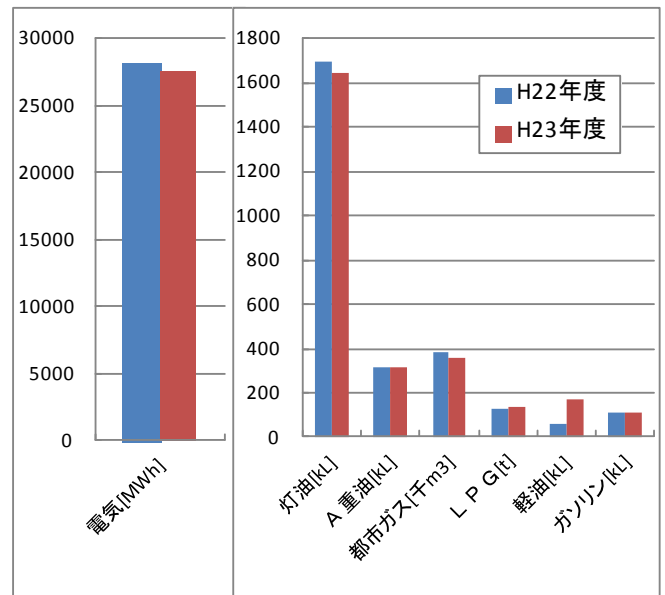


## ■市役所の燃料使用量

平成23年度の市役所の燃料使用量は、前年度比でLPGなど若干増加した燃料はありましたが、電気が2%、灯油が3%、都市ガスが7%程削減されました。

平成23年度の気候は前年度に比べ、夏は涼しく冬は寒い傾向にありましたが、職員や施設利用者の省エネの取り組み効果などにより、燃料使用量の増加が抑えられたと思われます。

市役所の燃料使用量の推移(平成22,23年度)

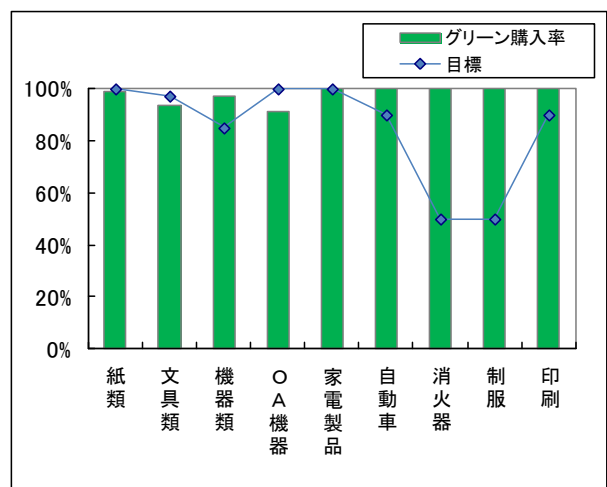


## ■平成23年度のグリーン購入実績

国等による環境物品等の調達方針に倣い、環境に配慮した物品の調達に取り組みました。

全体としての成果は、物品の購入数を基に計算したグリーン購入率で98.8%となっております。

平成23年度 グリーン購入率



(※1) 各電力会社とその年に火力発電所で石油や石炭などを燃やした時に排出した1kWh当たりの二酸化炭素量より算出した係数(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)。火力発電の割合が大きいと増加する。